

大淀町地方創生総合戦略に基づいた取り組みの報告

(平成 30 年度)

大淀町地方創生総合戦略は、平成 27 年度から平成 31 年度までを計画期間として定め、現在まで約 4 年が経過しています。

計画に基づき着実な成果を出せるよう P-D-C-A メカニズムのもと、客観的な指標により検証し、必要な改善をおこなうこととしています。

このたび、平成 30 年度末についてとりまとめ、その進捗状況を確認するとともに、残りの計画期間に目標を達成できるよう改善方法について整理しました。

1. 基本項目について

本計画では、3つの基本目標を掲げ、それぞれ数値目標を定めています。
各基本目標の現在の状況を以下に報告します。

基本目標1 住みたいまち～人間性豊かな健やかなまち

◆基本的方向

人口減少に歯止めをかけるため、若者世代・子育て世代を応援し、結婚の希望、出産の希望をかなえます。また、都心が近く緑あふれる上質な住環境をPRし、本町への移住を促進します。

◆数値目標（成果指標）

出生数：650人（H27～31累計）（＝年平均130人）

社会移動：－106人（H25）→±0人（H31）

■進捗状況（平成27年度～平成30年度）

【出生数】

平成22年度	115人	}	合計522人（年平均104.4人）
平成23年度	115人		
平成24年度	107人		
平成25年度	92人		
平成26年度	93人		
平成27年度	80人	}	合計163人（年平均81.5人）
平成28年度	83人		
平成29年度	76人	}	合計155人（年平均77.5人）
平成30年度	79人		

【社会移動】

平成27年度	－148人
平成28年度	－157人
平成29年度	－83人
平成30年度	－169人

基本目標2 住み続けたいまち～多様な産業による安定雇用

◆基本的方向

本町の特性を活かし、雇用の場を広げるとともに、様々な産業を有機的に結び付けて持続可能な農業を実現し、都市部住民との交流に繋がります。

◆数値目標（成果指標）

町外からの新規就農者数：0人（H26）→15人（H27～31累計）

企業誘致数：4件（H22～26累計）→5件（H27～31累計）

■進捗状況（平成27年度～平成30年度）

【町外からの新規就農者数】

平成27～30年度の累計 3人

【企業誘致数】

平成27～30年度までの累計 2件

基本目標3 来たいまち～街道が導く賑わいのまち

◆基本的方向

奈良県南部地域・東部地域と連携し、観光客数や繰り返し訪れてくれるリピーターを増やすため、特色ある観光基盤の整備や地域の特性を活かしたイベントの開催、情報発信の強化などに取り組みます。

◆数値目標（成果指標）

観光入込客数（道の駅）：58万人（H26）→70万人（H31）

■進捗状況（平成27年度～平成30年度）

【観光入込客数】

平成27年度 593,742人

平成28年度 580,765人

平成29年度 543,347人

平成30年度 566,520人

2. 各項目における「KPI」の達成状況と「具体的な事業」の取組状況

(※KPI=「重要業績評価指数」(Key Performance Indicator の略称。) 施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。)

1) 進捗状況調査シート

平成 30 年度末現在の各項目の進捗状況を別添「進捗状況調査シート」のとおりとりまとめました。

なお、一覧表にて、進捗状況・達成状況をそれぞれ数値化するため 0～5 ポイントの評価をしています。

2) 進捗状況の分析

①目標に対して達成率が高い項目

1-1-①保育所・認定こども園や学童保育の充実

- ・プレジャールームの定員

1-1-②地域ぐるみの子育て支援

- ・適応指導教室
- ・移動型あかちゃんの駅貸し出し
- ・子ども医療費助成 など

1-3 快適で安心・安全な暮らしづくり

- ・新病院の開院
- ・公園の維持管理・遊具の修繕

1-4-①定住・U I J ターンの促進

- ・定住促進の P R

2-2-①地域特産品の P R

- ・アンテナショップでのプロモーション実施
- ・新規ブランド品、新規通信販売商品創出

2-2-②既存事業者に対する支援の充実

- ・住宅リフォーム工事助成による経済効果など

2-3-②起業の支援

- ・新規創業者、創業支援事業

3-2 観光の振興

- ・観光素材の発掘
- ・町外からの集客者数など

3-4 交流活動の推進

- ・観光交流イベントへの町内団体商店の出店
- ・農業体験農園貸出利用区画数

②目標に対して達成率が低い項目（課題項目）

1-2-② 「生きる力」をはぐくむ学校と地域の協働

- ・ 職業体験プログラムにおける農業分野での受け入れ事業数
- ・ 農業と教育との連携

1-4-③ 住宅購入・リフォーム等への支援

- ・ 住宅新築件数
- ・ 定住促進住宅リフォーム工事助成件数

1-4-④ ふるさと回帰への支援

- ・ 社会移動

2-3-① 新エネルギーによる産業興し

- ・ 災害時電力供給システム
- ・ 移動電源車（EV車）保有台数
- ・ 地産エネルギーの地消率促進
- ・ 木質バイオマス発電所の熱利用の検討

2-3-③ 新たな企業の誘致及び雇用の場の確保と雇用促進

- ・ 企業誘致数

3-1-② 道の駅の充実

- ・ 野菜直売所（道の駅）レジ通過者数

3. 改善（Action）すべき項目とその方法

1) 事業化・予算化が必要なもの

1-4-③ 住宅購入・リフォーム等への支援

- ・ 定住促進住宅リフォーム工事助成件数
- ・ 移住定住者向け住宅取得支援事業の検討

2-3-① 新エネルギーによる産業興し

- ・ 災害時電力供給システム
- ・ 移動電源車（EV車）保有台数
- ・ 地産エネルギーの地消率促進
- ・ 木質バイオマス発電所の熱利用の検討

これらの項目については、町として事業化することが必要であるとともに、予算措置が必要となります。一部の事業（定住促進住宅リフォーム工事助成）については、平成28年度から実施しましたが、目標数値には達していません。一方、財政状況の悪化も伴って事業化が困難となっている案件も多くあります。財源の工夫なども含め庁内で検討を行い、少しでも早く事業に着手できるように引き続き検討してまいります。

2) 長期的な取組が必要なもの

1-4-③ 住宅購入・リフォーム等への支援

- ・住宅新築件数

1-4-④ ふるさと回帰への支援

- ・社会移動

2-1-① 次世代に繋がる農業への取組

- ・集落営農設置推進事業
- ・若者新規就農者

2-3-③ 新たな企業の誘致及び雇用の場の確保と雇用促進

- ・企業誘致数

3-1-② 道の駅の充実

- ・野菜直売所（道の駅）レジ通過者数

これらの項目については、一定の取組みを行っているものの、すぐに成果の表れるものでなく、粘り強く継続した取組みが必要であると考えます。しかしながら、活気ある町づくりのためには、必要な項目でもありますので、今後は、取組みをさらに強化できるような財源の確保と人材の確保に努めるとともに、長期的な展望のもと創意工夫をしながら取組みを続けていきます。

4. まとめ

平成 27 年度及び平成 28 年度の取組に引き続き平成 29 年度及び平成 30 年度の取組を上記のとおりとりまとめましたが、3つの基本目標の数値目標を達成するためには、計画書記載のさまざまな事業を並行して取組まなければなりません。この4年間で取組みが進んでいる項目も多くあり、既に一定の成果が表れていると考えていますが、一方で取組みがうまく進んでいない項目や、財政状況の悪化も影響したために、着手できていない項目もあります。

本計画の計画期間は、令和元年度（平成31年度）をもって終了となります。計画期間の終了までは、改善や手法の工夫によって取組みを進めなければなりません。引き続き数値目標やKPIの達成を意識した事業の展開が必要であると考えます。

数値目標やKPI及び具体的な事業は、個々の記載内容の進捗状況を計るために示した指標の一例であり、本来の目的の一部でしかありません。それぞれの項目における記載内容や意味を十分に理解したうえで、その記載内容全体を達成できるよう創意工夫した事業展開を行うべきと考えます。例えば、農業の後継者不足問題については、担い手解消のための施策を進めていますが、地域の高校との連携など、新たな連携先を模索するような工夫が必要なのではないかと考えるところです。

また、道の駅については、町の地方創生における重要な施設の一つですが、周辺市町村の道路網の発達により、吉野地域へのアクセスルートが変化してきています。このことも意識をしながら、今後の地方創生推進にあたるべきです。

当該計画の期間が終了した後の、令和2年度以降の次期総合戦略について、これまで取り組んできたことや目標の成果、および町の財政状況などの実情を鑑み、めざすべき方向性を改めて整理し、さらなる創意工夫で地域の活性化に努めるべきと考えます。

5. 交付金事業の効果検証

地方創生交付金（平成29年度・平成30年度実施）を活用した事業について、その成果を別紙のとおり報告します。

29年度（28年度繰越事業）

・農商エイノベーション事業（道の駅強化事業） 64,056,840円

29年度

・大淀病院跡地及び近鉄下市口駅前周辺地区まちづくり事業 12,998,540円

・道の駅を中心とした広域地域経済循環システム（地域商社）の構築 9,412,038円

30年度（29年度繰越事業）

・大淀病院跡地及び近鉄下市口駅前周辺地区まちづくり事業 2,981,696円

30年度

・道の駅を中心とした広域地域経済循環システム（地域商社）の構築 25,270,622円

道の駅に関連した事業については、交付金によって当該事業の推進に寄与できました。~~KPIの達成ができていない項目もありますが~~、今後の地域経済の活性化の基礎をつくるうえで一定の成果があったものと判断していますが、アウトカムベースでの効果が見られません。効果を得るには時間のかかる指標であると思いますが、引き続き工夫した取り組みが必要です。大淀病院跡地及び近鉄下市口駅前周辺地区まちづくり事業については、本町の財政状況の悪化により、事業実施は先送りとなりましたが、今後の事業実施の際の、基礎資料として有効に活用できると考えています。

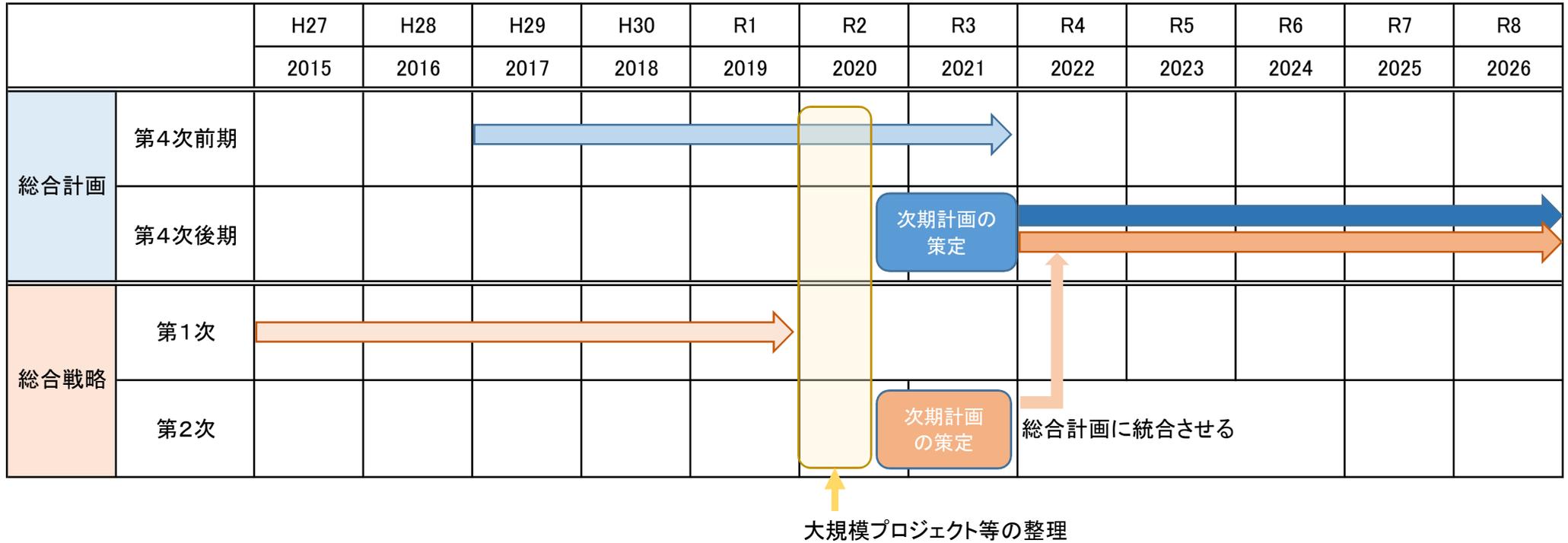
今後は、財政計画を基に財政の立て直しを行いながら、町の方向性に添った形で改めて事業を精査し、実施できるよう努めていく必要があります。

大淀町地方創生総合戦略 進捗管理シート 評価一覧

大項目(基本目標)		評価(小項目ごと)								評価(中項目ごと)								評価(大項目ごと)								
中項目	小項目	H27~28		H29		H30		計画全体(H27~31)		H27~28		H29		H30		計画全体(H27~31)		H27~28		H29		H30		計画全体(H27~31)		
		KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	KPI	具体的な事業	
基本目標1 住みたいまち~人間性豊かな健やかなまち																										
1. 子育て支援対策の推進																										
①保育所・認定こども園や学童保育の充実		0	4	0	4	5	4	5	4																	
②地域ぐるみの子育て支援		4	5	4	5	3	5	4	5	1.7	4.3	2.3	4.3	3.7	4.3	3.7	4.3									
③結婚・出産支援の取組		1	4	3	4	3	4	2	4																	
2. 特色ある教育プログラムの推進																										
①ふるさと教育の取組		-	4	-	4	-	5	-	4																	
②「生きる力」をはぐくむ学校と地域の協働		0	1	0	2	0	2	0	2	1.0	2.7	1.5	3.3	1.0	3.7	1.0	3.3									
③スポーツに親しむ環境づくり		2	3	3	4	2	4	2	4																	
3. 快適で安心・安全な暮らしづくり																										
①南奈良総合医療センターを中核としたまちづくりの推進		4	5	4	5	4	5	4	5																	
②公園・緑地の整備充実と景観づくり活動の促進		5	5	5	5	5	5	5	5	4.7	5.0	4.7	5.0	3.3	3.7	3.7	4.0									
③中心市街地のまちづくりの推進		5	5	5	5	1	1	2	2									2.7	3.8	2.8	4.1	2.7	3.9	3.0	3.9	
4. 定住・U/IJターンの促進																										
①定住促進のPR		3	5	3	5	3	5	3	5																	
②住宅供給(団地内の空き宅地への入居促進等)		5	4	4	4	4	4	4	4	2.7	4.3	3.0	4.7	3.7	4.7	3.3	5.0									
③住宅購入・リフォーム等への支援		0	1	1	2	3	2	2	3																	
④ふるさと回帰の支援		0	3	1	3	1	3	1	3																	
5. 生きがいある暮らしづくり																										
①地域自治によるまちづくりの推進		3	5	3	5	3	5	3	5																	
②文化・社会教育の充実		3	4	4	4	4	4	4	4	3.0	4.0	3.3	4.3	3.0	4.3	3.3	4.3									
③生涯学習活動の支援		3	3	3	4	2	4	3	4																	
6. 安定した行政体制の確保																										
①効果的・効率的な行財政運営の一層の推進		3	4	4	4	5	4	4	4	4.0	3.5	3.5	4.0	3.0	4.0	3.5	4.0									
②広域行政、広域連携の推進		5	3	3	4	1	4	3	4																	
基本目標2 住み続けたいまち~多様な産業による安定雇用																										
1. 持続可能な農業の実現																										
①次世代に繋がる農業への取組		1	2	1	4	2	5	1	4	1.0	2.0	1.0	4.0	2.0	5.0	1.0	4.0									
2. 商工業の振興																										
①地域特産品のPR		4	3	5	4	5	4	5	4	4.5	4	5	4.5	5	4.5	5.0	4.5									
②既存事業者に対する支援の充実		5	5	5	5	5	5	5	5									3.2	3.3	2.5	3.7	2.7	3.8	3.0	3.7	
3. 新しい産業の育成支援																										
①新エネルギーによる産業興し		0	0	0	0	0	0	0	0																	
②起業の支援		4	5	4	5	4	5	4	5	3.0	3.3	1.3	3.0	1.3	3.0	2.3	3.0									
③新たな企業の誘致及び雇用の場の確保と雇用促進		5	5	0	4	0	4	3	4																	
基本目標3 来たいまち~街道が導く賑わいのまち																										
1. 賑わい創出への取組																										
①商業の拠点整備と商店街活性化		5	3	5	4	3	1	4	3	2.5	4.0	2.5	4.5	2	3	2.5	4.0									
②道の駅の充実		0	5	0	5	1	5	1	5																	
2. 観光の振興																										
①観光資源の発掘・充実		5	5	5	5	4	4	4	4																	
②観光情報の発信機能強化		4	4	4	4	4	4	4	4	4.7	4.7	4.7	4.7	3.7	3.0	3.7	3.3									
③中心市街地のまちづくりの推進(1-3-③再掲)		5	5	5	5	3	1	3	2									3.7	4.1	3.8	4.3	3.3	3.5	3.4	3.8	
3. 情報発信の推進																										
①協働によるセールスの推進		4	4	3	4	3	4	3	4																	
②イメージアップ戦略の推進		0	3	2	4	2	4	2	4	2.0	3.5	2.5	4.0	2.5	4.0	2.5	4.0									
4. 交流活動の推進																										
①地域間交流の促進		5	5	5	5	4	5	4	5																	
②地域づくり団体等の活動促進		4	4	4	4	4	4	4	4	4.7	4.0	4.7	4.0	4.3	4.0	4.3	4.0									
③国際交流の促進		5	3	5	3	5	3	5	3																	
全体																		3.1	3.8	3.1	4.1	3.0	3.8	3.1	3.9	

【評価の基準】
 ・各項目ごとに、0~5ポイントの評価を行った。(未着手のものを「0」、業務完了のものを「5」とした。)
 ・計画全体(平成27年度~平成31年度)については、全体計画に対して現在の進捗状況を評価した。
 ・「KPI」は、当該KPIの達成状況を、「具体的な事業」は記載の具体的な事業がどれだけ進んでいるかを評価した。

総合計画・総合戦略の今後の取扱い



- ※ 令和2年度(主に上半期中)に大規模プロジェクト(=大淀病院跡地、就学前教育関係、その他核となる事業など)の方向性を整理する。
- ※ 上記で定めた方向性を踏まえ、令和2年度下半期から、令和4年度を初年度とする総合計画の後期計画及び第2期総合戦略に着手し、令和3年度中の策定をめざす。